

地域で

職場で

学校で

『認知症サポーター養成講座』

を開催しませんか



認知症サポーターとは

認知症とは、脳の病気によって記憶力や判断力が低下することなどにより、日常生活や社会生活に支障がでている状態を言い、その原因はさまざまです。

『認知症サポーター』とは、認知症について正しく理解し、地域の中で認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」のことです。何か特別なことをする人ではなく、普段の暮らしの中で、自分ができる範囲で、認知症の人とその家族の暮らしを支えています。

認知症サポーター養成講座とは

認知症サポーターになるには、「認知症サポーター養成講座」を受講する必要があります。深浦町では、認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指し、認知症サポーターを養成するため、「認知症サポーター養成講座」を開催していただける団体等に無料で講師を派遣し、講座の開催を支援しています。自治会の集まりや職場、学校、趣味の集まりや友人のグループなどで養成講座をぜひ開催してください！

内容

認知症の理解（認知症の症状、認知症の予防、認知症の人との接し方など）
認知症サポーターについて 等

時

60分～90分

講

講座開催のための研修を修了したキャラバン・メイト

対象

町内に在住・通勤・通学している人を中心とした集まり

会場

開催者でご用意ください

※講座を受講された方には、サポーターの証であるオレンジリングを配布します。

【講座の申し込み・お問合せ】

深浦町地域包括支援センター

電話：0173-74-4421 Fax:0173-82-0158